

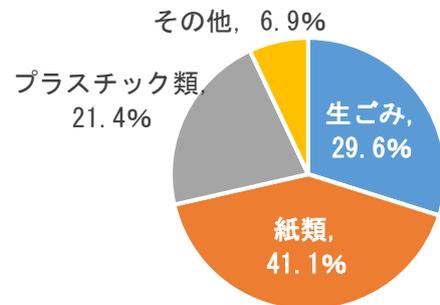
家庭系生ごみ削減対策について

第1回食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議において、ご意見のあった家庭系生ごみの堆肥化（コンポスト）など削減対策について検討したもの

1 本県の家庭系ごみの排出状況

県内で排出される家庭系ごみの約3割が水分の多い生ごみであり、コンポストなどにより生ごみを減らすことで、ごみの燃焼効率やごみ収集車の運搬効率の向上にもつながる。

一方で、地域によっては、コンポスト肥料を活用する畑地がない、設置環境・管理状況によっては臭いによる苦情が懸念されることから、その活用は限定的である。



家庭ごみの内訳(重量%)
(R5 家庭系食品ロス・食品廃棄物実態調査より)

2 市町村における生ごみ削減対策

- ・ 10市町村でコンポスト容器に加え、電気生ごみ処理機の設置補助を行っており、その件数は増えている。
- ・ 黒部市では生ごみを細かくして下水道に流すディスポーザーによる減量化・下水処理場でのバイオガス発電を展開している。
- ・ 富山市では、ダンボールコンポストの体験教室や地域センターでのコンポストのモデル設置・地域での運用方法の検討を進めることにより、生ごみの減量化、堆肥化（コンポスト）の利用を図っているところ。



ダンボールコンポスト普及啓発事業(富山市)

3 今後の県の取組み方針

- ・ 食品ロス削減のための新キャラクター「コンポちゃん」をナビゲーターとして、コンポストの啓発を新たに始めたところ。
- ・ 食品ロス削減推進計画にも生ごみの減量化・リサイクル（コンポストなど）を推進施策として位置付け、県・市町村等で構成する一般廃棄物対策推進協議会を通じて、富山市のモデル事業の事例・効果を発信し、他市町村での展開を図るなど、地域特性に応じた形で、生ごみの減量化・リサイクルが全県的に普及するよう進めてまいりたい。

4 参考

(1) 市町村の取組み状況

○ 生ごみ処理機補助金の状況

	コンポスト容器		件数			電気生ごみ処理機		件数		
	限度額	補助率	R5	R4	R3	限度額	補助率	R5	R4	R3
氷見市	5,000	1/2	6	15	10	25,000	1/2	7	3	5
滑川市	3,000	1/2	9	1	9	20,000	1/2	9	9	3
砺波市	3,000	1/3	6	6	12	10,000	1/3	12	11	13
南砺市	5,000	1/2	5	7	11	50,000	1/2	38	29	24
射水市	-	-	-	-	-	15,000	1/3	26	13	18
舟橋村	3,000	1/3	0	0	0	20,000	1/3	0	0	0
上市町	3,000	1/3	5	7	3	50,000	1/2	10	7	0
立山町	30,000	1/2	1	1	6	30,000	1/2	8	3	2
入善町	20,000	1/3	2	6	3	20,000	1/3	11	8	6
朝日町	18,000	1/3	0	4	2	18,000	1/3	6	1	4
計			56	47	34			127	84	75

※ 黒部市におけるディスプレイの設置補助金の実績
限度額 30,000 円 補助率 1/2、R 5 実績：71 件

○ 啓発等の状況

	取組内容
富山市	①地域循環型生ごみ堆肥化モデル事業（R6～） モデル地区（1か所）において生ごみ処理機を設置し、住民が生ごみを持ち込み、堆肥化したものを小学校や家庭菜園等で使用する実証実験を行う。 ②ごみ減量普及啓発事業 小学四年生向け副読本の作成や出前講座等の実施。
魚津市	ごみ収集カレンダーや分別出し方ガイドに「生ごみは水分を切って」「コンポストで生ゴミ減量化」等の記載
滑川市	HPで啓発
砺波市	HPで啓発
小矢部市	ごみ収集カレンダーや市広報で「ひとしぼり運動」の啓発
射水市	ごみ収集カレンダーやごみ分別便利帳、ごみ分別動画で水切りの啓発
上市町	町広報でダンボールコンポストの啓発
入善町	「ごみの分け方・出し方早わかり便利帳」に水切りを記載
朝日町	ごみの捨て方・出し方ガイドブックに事業内容を掲載

